

市民活動団体の大学との連携に関するアンケート調査票・記述欄まとめ

相模原市市民・大学交流センター指定管理者
公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム

調査対象: 当センターにて選抜した市民活動団体
実施期間: 令和2年10月21日(水)～11月30日(月)
調査団体数: 100団体 調査票郵便未達数: 1団体
回答数: 47団体 回答率: 47%

【記述式アンケートの公開にあたって】

個人を特定できるおそれのある記載については削除・編集しています。

行政(相模原市)に対し、大学生や学生に関する取組みで期待する内容をお書きください。

※回答を5つのキーワードに分類し掲載

①【キーワード: 施設・備品の拡充】

fablabや世田谷ものづくり学校のようにレーザー加工機、3Dプリンターなどの加工機材が安価で自由に使用できる空間。

②【キーワード: 情報】

様々なボランティア活動についての情報窓口

大学や学生についての情報提供、機能、とりまとめと情報公開

学生が行っている取りくみがみえるようになるといい。

各課で実施している学生との協働事例の紹介、広く市民が参加可能な活動情報の発信

市民への情報発信

③【キーワード: 支援】

多くの学生を持つ大学に対する積極的支援、せっかく多くの学校があるのにその利点が十分に活かされていないと感じる。

地域の事業に協力している学生には学校側に何らかの配慮を働きかけてほしい。

コロナ時代に入り、現在、大学内は試行錯誤の中、実質的に閉鎖(オンライン)状態です。学生たちも満足に授業が受けられない中、市民協働の余力があるのか疑問です。まずは本分の研究・教育を立て直すための支援が望まれます。

ユニコムプラザさがみはら実施事業への資金提供→市内で最も活発に取り組んでいると思うため。

④【キーワード: 機会・イベントの創出】

コロナ禍で思うように学生生活を送れない学生に対し、活動や社会とつながる機会を設けていくことを期待しています。(地域活動など)

市の行事等にどんどん学生を使ってほしい。学生のアイデアはとて面白いものがあると思います。

大学の街のアピールとしていろいろな分野で大学対抗の催しを開いてほしいと思います。12か月毎月何かのイベントを行えば街全体にアピールが行き届くと思います。

学生の能力が市民の文化・芸術の向上に繋がるさらなる環境づくりを期待します。

食環境の整備(行政が行っている公衆栄養活動)に学生も参加できると学びにつながると思います。

- ・学生のスキルや研究を活かせる企業の誘致
- ・学生の職場体験や市民活動への参加を促す政策の策定
- ・学生の行う芸術・音楽・スポーツ等を讃える制度や競い合う仕組みや場の創設、資金の提供など。

将来、地域住民となる若い世代が地域の諸問題に関心を寄せられるように大学生が自治会や子ども会の活動に参加するなどふれあう機会を積極的に推進してはどうか。

- ・ユニコムプラザさがみはらシェアードオフィスで生活・文化事業に対するSOHO事業者の居促進を可能とする
- ・大学の地域活性化に対するチャレンジを可能とする仕組み作り

⑤【キーワード: キャリア・就職】

就学支援や就労支援の充実、相模原市に人を集めようとする努力がほしい。

学生の就職支援

学生時代を過ごした相模原市に就職してほしい(就職の窓口を広げてほしい)行政だけでなく、地元の会社等にも。

地域の課題解決や経済の活性化に関する連携を促進し、卒業後も相模原市に就職を促すような体制を構築する

「さがみ風っ子教師塾」のようなシステムを、市役所や病院、企業にも取り入れて卒業後の就業を積極的に支援してけると良いのではないかと。講演会講師の紹介・補助。

新卒の学生は使えない!!を企業の人達にいわれぬ様に、実習時間等を増やし社会人としての心がまえを実社会の人達に学ぶ事。

【まとめ】

卒業後の就職までを見据えた長期的な学生や大学との連携を期待していることがうかがえる。また機会や情報をもっと効率的に提供しあい、風通しよく様々な場面で学生と地域の交流・協働を望んでいることも浮かび上がってくる。

大学との連携・交流があれば、代表的な事例を1つご記入ください。

※複数の分野にまたがる事例に関しては、一つの分野のみ記載しています。

【分野: 観光振興/農山漁村又は中山間地域の振興/環境保全】	
事例の名称	事例の概要
神奈川大学湘南キャンパスの学生支援	fablab利用者をさがみ湖ものづくり研究所へお連れして、津久井の間伐材を使った商品(特産品)の開発に参画してもらった。大学生の卒業テーマとして。
【分野: 学術、文化、芸術又はスポーツの振興】	
事例の名称	事例の概要
さがみアカデミー	墨絵教室への参加
相模原市長杯 7人制ラグビー大会への参加	市内を練習拠点としている大学の参加(青山学院・國學院・北里・麻布)
女子美術大学構内の見学	女子美術大学卒業講師の引率により、メンバー全員が大学を訪問、校内を見学する機会を得た。大学関係者制作の展示品、制作に取り組む教室や学内環境を見学できたことはメンバーの制作意欲を刺激し、感動を与えた。
びじゅつ教室	小田原女子大学(保育学科)女子美術大学(油画専攻)の学生にスタッフとして参加してもらいました。主体的な表現が生まれるプロセスである自由で多様な創作過程を存分に体験してもらい、その楽しさを共有しました。
哲学カフェ入門(空耳図書館)	・上智大学グローバルコンサート研究所「シネマ哲学カフェ」への協力 ・ユニコムプラザさがみはらでの空耳図書館「哲学カフェ」実施・上智大学、桜美林大学
【分野: まちづくりの推進】	
事例の名称	事例の概要
さがみおおのハロウィンフェスティバル	相模女子大学の先生・学生の方が毎年ボランティアとして運営に携わって下さっている。
【分野: まちづくりの推進・経済活動の活性化】	
事例の名称	事例の概要
潤水都市さがみはらフェスタ	市内大学の学祭との連携
さがみはら環境まつり	大学生によるブース出展、講座開催
相模大野もんじえ祭り	大学生がブース出店し、ボランティア活動及び学習の成果等を発表する機会を提供している。(イベントの準備から参加)
大学内ボランティアセンターとの連携	学生向け市民活動の情報発信、大学を会場とした各種セミナーの開催、地域イベントへの学生ボランティア協力依頼
市民力を高める計画立案手法(CPS※)による市民リーダー育成事業	地域の様々な公共的課題を、市民自らが解決していくための第一歩として、市民同士の合意形成及び計画作りの手法を学ぶ場を提供し、参加者が抱えている実課題を取り上げながら、市民リーダーとして地域で実践していける人材の育成を行う。
小型植物工場導入と工場野菜の付加価値研究	博士の活躍の場を確保する目的で設立された小型植物工場を地元大学の食堂に設置して主題の研究促進に役立てるとしてユニコムで勉強会を開催したが提案を否定され大学との連携を断った。
【分野: 国際協力】	
事例の名称	事例の概要
大学のボランティアセンターとの連携、インターン	ボランティアをしたい学生に対し、活動情報を提供してもらう。イベントへの参加や企画を大学生が行う。
外国人のための日本文化体験	地域団体、相模女子大の企画に日本語教室の学習者が参加し日本文化体験と地域の交流、国際理解を深めた。
【分野: 社会教育の推進】	
事例の名称	事例の概要
秋の吟行会～「いのちの博物館」を詠む(麻布大学との連携)	秋の一日「麻布大学いのちの博物館」を見学し、キャンパス内を歩き俳句をつくる。博物館でどのような「いのち」と出会えるか、キャンパス内でどのような発見があるか、目でみて、感じてそれを俳句にする。 午前中、博物館及びキャンパス内を見学し、午後は句会を行う。
図書館ひろば	布絵本を使ったお話し会、図書館を利用する団体の活動紹介、本の修繕の実演、点字・対面朗読のデモンストレーション、古本市など。図書館の集会室全部を使って同時進行。
シニア女性グループの活動内容や方法等にインタビューを受ける	シニア女性グループの活動状況をインタビュー、会議オブザーブ、ビデオ撮影等を通して情報収集を受けた。

【分野:子どもの健全育成】	
事例の名称	事例の概要
子ども食堂	子ども食堂を運営するスタッフとして大学生が参加している。
子ども食堂	大学の正規授業において、地域のボランティア団体と連携して子ども食堂を学生主体で運営している。
子育てセミナー	和光大学の先生と現在の子育て中の親がかかえる課題を話し合いそれを解決できるヒントを提示できるような子育て講座を催した。
クリスマス会	銀河の森プレイパークにて学生(青学)主体でクリスマス会を開催。地域の子どもや保護者との交流が出来た。大鍋でスープ作り、合唱、演奏会、ゲーム、自然のものを使って楽しんだ。
【分野:保健・医療・福祉の増進】	
事例の名称	事例の概要
PD Place	PD(パーキンソン病)当事者とそのpartnerと学生とexerciseを中心とした居場所の提供
自助グループの研究対象	アルコールなどの依存症からの回復のための方法として自助グループの存在が少しずつ高まっている。ただしその実態はまだ認知されているとはいえない。活動内容に関し、他のグループに研究対象としての依頼があったということは聞いた。
食物アレルギーを持つ患者と家族のための調理実習	食物制限のある子女やご本人(小児・成人)を対象に三大アレルゲン・七大アレルゲンを使用しない食事の提案 ①食品を選ぶ時の注意や表示の見方 ②学校・保育園の給食注意 ③外食での注意 3点を講習をしてから実習調理
フィールドワーク	授業の一環として美と健康に関するイベントを大学生と一緒に開催しました。
【分野:職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援】	
事例の名称	事例の概要
就職懇談会	相模原市の保育所・認定こども園の紹介等
相模女子大学社会人デビュー講座	大学生に社会人として身に着けて欲しい教養としての税金の概要の授業を行い税理士のキャリアについてパネルディスカッションにより職業紹介を行う。
【まだ具体的な活動がないもの】	
	残念ながらまだお引合い事例がありません。お引合いを期待しております。
	いろいろな所で学生と接するきっかけがありましたが、私達の団体でいっしょに活動したり、交流したりしたことはありません。
	現在のところありません。今後中間支援組織として、さまざまな分野で大学や学生とコラボレーションしていきたいと考えています。

【まとめ】
 様々な分野・かかわり方で大学との交流があった地域団体の存在が確認出来た。一方で、災害や安全、情報化という分野での事例は今回は見られなかった。また、学生とまだ関わりを期待しつつも機会がない団体もある。今後は「継続的」に関わるという視点でもリサーチをしていく必要を感じた。

大学・学生との連携・交流を実施したいテーマについて3つまでご記入ください。また、実施にあたり貴団体の強みと弱みをご記入ください。

【分野: 科学技術の振興】

実施したいテーマ	強み	弱み
当団体の資産と教育ノウハウを利用して学生さんから小中学生の技術者の卵達へ教育の橋渡し、理解する事の楽しさを教えてもらう。学生さんにとっても、理解の向上、触れ合いの大切さが良くわかると思われま	子供教育に適した資産があります。	団体構成メンバーと小中学生の年齢差が大きすぎ、親近感が湧きにくい問題があります。
ソーラーシェアリングによる市民共同発電所の設立	自分の専門でもある省エネに有効で東京や千葉で資金調達の計画も立て活躍している人を招致	農協などへのアプローチでは法人化が必要を痛感

【経済活動の活性化】

実施したいテーマ	強み	弱み
相模原ブランドの構築(※芸術系の学部を持った大学や科学技術・食品分析ができる大学などとコラボレーションなど)とコラボレーションしたい。	団体メンバーに地域ブランドコーディネーター経験者がいる。又、その実績もある。	本業でいそがしいメンバーばかりなので、外部とのコミュニケーションをとる時間が少ない。
宣伝ツールとしての植物補光架台の開発 癒し効果を持つ植物と掲示板ホルダーの組合せで宣伝効果を高める。	TV映像も掲示板と一緒に(タブレットPC)の写真映像をTVで写した。	情報処理に強い仲間を作れず当面中断

【学術、文化、芸術又はスポーツの振興】

実施したいテーマ	強み	弱み
美術クラブの学生と共同デッサン会開催	デッサン会実績有	年齢差による感性の違い
学生さん(小学生も含む)にモノづくりの楽しさを伝える講習会を開催する。	3D作図と3D造形の技術的ソフトとハード(機材)を持っているので、新たな投資を必要としない。	活動を実行する仲間が少ない。
合同作品発表会	参加者人数・作品数	高齢者ばかり
親子ラグビー教室への指導サポート	地元拠点の大学チームのサポートにより、地域の方々との距離が近くなり、大学チームへの支援にもつながる。	大学生とのスケジュール調整、指導料等の費用負担の確保
ワークショップのスタッフとしての参加	それぞれの表現と向き合いながら作品ができていくそのプロセスにこそ意味があり、それを共に体験することでスキルを学び、喜びを共有できて達成感が得られること。	大学で仕事をしているわけではなく、学生とのつながりがない。
女子美術大学構内の見学の機会は、大変有意義な時でした。大学への見学、さらには学生と交流する機会が増えれば、メンバーにとってなお一層制作意欲の向上に繋がると思っています。	メンバーは既に女子美術大学との交流経験があり、今後の連携・交流をサポートできる。	メンバーの高齢化が進んでいる。
音楽芸術以外の学部生/研究生を対象にした音のワークショップ	音楽・美術・演劇・ダンス等 異分野アーティストの存在	専門外の地縁がない(人脈)
自立型掲示板ホルダーの開発ではデザイン名刺やレーザー加飾のデザインに著名人の作品では著作権料が高く学生さんの作品紹介用として普及させたい	貼り合わせや加工で安価な掲示板ホルダーを開発、Kistec Fahlab海老名のレーザーを使用、汎用品との差別化をした。	津久井産ヒノキ材を使用、地産地消をうたうも素材加工をベースに持たず藤野芸術で加工
美術モデルのアルバイト・あっせん	市場相場相当の支払いが可能	一般人アルバイトをやった実績がない。
サウンドエデュケーションを体験してみたい音楽/美術系大学向け サウンドスケープ・レクチャー	サウンドエデュケーションの拠点で学んだ経歴がある。	学術的な派閥の地域差
相模原を「空耳散歩」する(芸術・環境・まちづくり)	「空耳散歩」のノウハウがある。	少人数向けのコンテンツ(利益になりづらい)

【国際協力の活動】

実施したいテーマ	強み	弱み
コロナ禍で思うようにつながりが持てない大学生に対し、ボランティア登録を再開しました。	大学生(インターネットが使える)に、ネットでできるボランティアをお願いする。国際協力について理解を促進できる。	今のところ希望者のみ。ユースどうしの横のつながりをどう作るかが課題
国際理解と地域での交流・支援	日本語教室に参加している外国人は知的レベルも高く日本をもっと理解したい希望を持っている。	外国人は定住している人より限られた滞在の人が多く(しかし短期間でも交流は意義がある)

【子どもの健全育成の促進】

実施したいテーマ	強み	弱み
小学校高学年の学生向けに学習支援活動を実施している。大学生には運営・実施に協力していただきたい。	やる事が明確。子どもと関わることができる。	16:30~18:30に実施しており、学校終了後だと間に合わないこともある。
学生ボランティア受入れ(子どもに係わることを学ぶ方)	一日を通して様々な年齢の子どもたちと交わることができる。	駅から遠い。毎日開催しているわけではない。
子ども食堂の手伝い	調理の手伝いができる、アドバイスができる。	なし
乳幼児と保護者、学童への読み聞かせや学生による手遊びや制作等の指導を中心にタイアップして、企画~実施を協働する。年に1~2回フェスタ等を開き多世代交流を促すきっかけを作りたい。	・シニア女性ならではのコミュニケーション能力の高さ。・直接のふれあいを通じ相手を受容することができる。・生活の知恵等、様々な特技を持っている。	・IT関連に弱い。・情報収集範囲に偏りがある。・客観的な見方が苦手傾向にあるかもしれない
子育て支援者の資質向上を図りたい。保護者に寄り添った相談や適切な情報提供ができるように専門的知識の助言や学びの場をつくりたい。	・子育て広場を運営しているので支援者を沢山かかえている。・市の受託事業なので広く広報ができる	日々子育て広場を運営しているので時間に余裕があまりない
ユニセフがすすめる「子どもにやさしいまちづくり」隣の町田市では先行的にすすめている。大学や学生が地域づくりに関心をもって考える場所(子ども会議のような...)を設けたい。	既に町田市で取り組んでいるので参考になると思う。	自治体の協力が不可欠!!!自治体の方針とどのくらいマッチするか未知数
教育実習活動での受入(インターンシップ)	実習先としてまだ指定されていない新施設がある。	施設によっては受けられない場合もある。

【災害救援】

実施したいテーマ	強み	弱み
災害ボランティアセンター運営のための協力体制の確立(活動者の確保や、大学施設の借用など)	防災をテーマにした講座の紹介	ICT技術の導入と活用イメージの構築

【社会教育の推進】

実施したいテーマ	強み	弱み
地域とのかかわりが希薄なシニアを地域コミュニティに組み込むため、人生設計について考える「きっかけ」を与えることを目的にイベント・講座を開催し、学生との交流を図り、多世代交流を促進し地域活性化につなげる。	人生設計について考える講座を開催できる講師がいる。	知名度が低い。
取材・編集等の共同実施 相模原市の中学生はユニセフ募金活動がたいへんさかんである。年齢の近い大学生などが中学生とメンター的に関わってもらうことで地域の継続的な取り組みにしていきたい。	編集ノウハウ、情報発信力 相模原市内で連携ができれば、市内のSDGs推進にもなる。教育委員会も市内各地ですすめたいと言っている。	広域を細かくウォッチする体制が弱い。 継続的に取り組んでくれる(ゼミや学部など)ことが望ましい。
ボランティア活動への取組	100を超える施設がある、夏休み等を使い、就職に向けての経験となる。	期間や受け入れ人数に制限がある。
地域資源を発掘するイベント関係、市民記者養成講座、取材体験、トークイベント、ワークショップ等	すでに複数回実施している。	イベント実施にかかるリソース不足

【情報化社会の発展】

実施したいテーマ	強み	弱み
ローカルメディア研究	13年のデータ(グーグルアナリスティックス)、取材で培った人的ネットワーク、地域資源の所在情報	研究に投じる時間が足りない。
IT技術者養成講座は職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	現役SEが業界で必要な技術修取を念頭にテキストをまとめており、他よりもわかりやすくムダが無いと考えます。	

【職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する】

実施したいテーマ	強み	弱み
就職活動に関する取組	相模原市の保育所・認定こども園との連携	
税理士の職業紹介	子どもたちに租税に対する正しい知識と理解を深めてもらうため、小学生を対象とした租税教室を実施しており、大学でも職業講話を通して、税理士の職業紹介を行っている。	
無職業者の就労支援 中学・高校などから引きこもりとなっている若年の方々と交流し立ち上がるきっかけをつくる。	引きこもり者との交流	若い人との交流(特に大学生)

【地域安全】

実施したいテーマ	強み	弱み
空き家対策 現在空き家となって持ち主が存在している時期に調査し、その後の処置を検討する。	行政との連携	若い人からみた対応方針について

【農山漁村又は中山間地域の振興】

実施したいテーマ	強み	弱み
相模原の産物を紹介する	相模原の農家や野菜について知っている	料理を提供する人員が少ない
津久井地域の鳥獣被害対策 上記の対応として、新規に調査手段を開発、現地の市民と協働して農業の発展につなげる。	関係者との連携	新規な調査及び対策手段の開発

【保険、医療又は福祉の増進を図る】

実施したいテーマ	強み	弱み
食堂としての活動ではなく、食料の配布活動を行う。	少人数で行えるため、人数の確保が容易	本来の活動内容から逸脱している
学生が地域の健康に関わる課題を評価し、解決のためのプログラム活動を考案・実施する。	実施した経験がある。	特に記載するものではありません。
「がん患者の家庭内看護介護」について、看護学生や介護を学ぶ学生と知見やノウハウ、心情の交換。	現役のがん患者と苦戦苦闘した経験者が揃っている。	少人数ゆえに事例が少ない
フードロス・ひとり暮らし高齢者の食生活支援、生活困窮者の食糧支援に関する学生をからめた支援システムの構築。	団体メンバーに近い活動を実施している者が居る。	人的な機動力、支金力が足りない
新型肺炎が猛威をふるう中でのウェブによる講演会等のプロデュース	講演の内容など医師とのパイプラインが強く市内のミニコミ誌にも掲載宣伝が出来る。	役員が高齢者が多くネット社会への対応がむずかしい。
美と健康に関するイベントを一緒に開催したい→学業の成果発表をかねた学生ブースの出版	・多少の予算を学生企画に出せる・内容によっては企業とのコラボが可能	・活動場所が限られる(会議室の予約が必要)・知名度がない、小規模団体、実績が少ない、PR力が弱い
市内小中学校向けに展開する「福祉教育」のプログラム開発と授業の実施	当事者、市民活動団体等の情報交換や交流、課題検討の場面設定	「受講した生徒の意識の変化」など講座の効果を学術的にまとめあげる専門的な知見や手法の不足
独居高齢がん患者への福祉対応策について、社会福祉を学ぶ学生と意見交換。または「社会福祉における独居高齢がん患者への対応」	経験者である(メンバー)	まだメンバーが少ない
講演会・相談会・講習会における記録(ビデオ・録音)	多くの患者さん達の生の声を聞く事が出来る。	後日HPなどから情報発信(ユーチューブ)会報への原稿おこし
美と健康に関する調査研究を一緒にしたい→美容セラピーが与える心身への作用など	・美容セラピーに関する知識と現場経験を伝えられる・施設や病院などへ学生を引率できる(交通費をだせる)	・市内での活動先が少ない・平日実施が多い
DET(障害平等研修)の開催	パッケージ化しており、しっかりとした研修内容	学生へ周知する機会が少ない
各講演会や講習会の募集チラシや啓発リーフレットのデザイン・企画	原紙の土台はしっかりとつくれる。	人々にわかりやすく目だつ様なデザインがつかれない。

【まちづくりの推進】

実施したいテーマ	強み	弱み
さがみおおのハロウィンフェスティバルの開催、企画、運営のボランティアを質量ともに拡大したい。	大学、学生の方が得ていただけるものが多い。	提案していく企画力、人的パワー
学祭と市内イベントとのコラボ、連携	市内イベント(さがみはらフェスタ等)の運営実績	各大学とのつながりがうすい。
さがみはらのバリアフリー調査	車いすユーザーが沢山おり、ちゃんとした意見がきく事ができる。	調査に関してマンパワーが足りない。
地域課題解決のため、担い手としての参画促進	ボランティア・市民活動情報の提供	情報発信ツールの使い分け、管理と運用
イベントを通じた地域の活性化	イベントの定着(賑やかなまちづくりの形成)	特定されたイベントのみの参画
イベントWheelog!の開催	スマホアプリ化しており、学生などにも受け入れてもらいやすい。	一般ユーザーが少なく、もっと普及していきたい。
お祭り・イベント	自然豊かな場所・たき火が出来る。	子ども主体で考えると、場所が限られているので、大規模なものは難しい。
多世代向け料理の提供	学生さんにメニューを考えてもらう(夏休みと冬休みぐらいは手伝ってもらえるか?)	水曜日の昼間なので学生さんが参加できにくい。
地域活性化(にぎわい創出)商店街活性化のための企画	団体メンバーに経験者有り	支金力不足、時間の不足

【まとめ】
 多岐にわたる分野から様々な提案が上がり、大学・学生との連携に前向きに捉えている団体が多くいることがわかる。実施済みの事例の設問では挙がってこなかった分野での希望も見られたので、今後そのような新たな分野での連携も期待したい。一方で人員・時間・経済的な不足が課題としてあげられており、実際に学生を招いたときの不安も垣間見れる。大学・学生との「連携」の具体的なハウツーや、弱みをどう克服するか、また弱みにどう大学や学生が関わっていけるのかを一緒に解決する機関であるユニコムプラザの橋渡しの役割の重要さも見て取れる。

活動するうえでの課題についてお答えください/課題をより具体的にご記入ください。

選択肢(複数選択可)

1. 活動主体が広がっており、また活動領域も多様化し、一層の創意工夫が必要である
2. 中間支援組織が活動の多様化に対応できていない、ネットワーク化や行政との連携が必要である
3. 活動の発展段階に応じた支援や専門的な支援が必要である
4. 活動の場の確保が難しく、使用可能物件の情報、拠点の整備が必要である
5. 市民活動団体間の連携や地域課題解決に向けた多様な出会いの場が必要である
6. 人材の確保や人材のマッチング支援が必要である
7. 活動資金を確保する必要がある
8. 行政の職員におけるコーディネートの役割及び役所機能の強化が必要である
9. その他()

上記、選択したもの	具体的に記述
7	コンテンツ拡充のため、ライター雇用、取材費用に充てる資金が必要
1, 8	当施設の利用条件が大学連携を主目的としているため、活動範囲が制約され発展性が乏しいように感じる。当施設が有効利用されるように大学連携の条件を外した幅広い利用条件の規約・規定の改定を希望します。市の市民課だけの縦割の管理でなく、組織の横断的価値観も導入してほしい。
4	コロナ禍により、大学施設利用が現在不可、作品の発表する場の確保が難しい。
5, 7	【5】「まちづくりフェスタ」を活用して市民活動団体間の交流の時間と場を確保してはいかがでしょうか【7】市民活動団体に対して、ボランティアということで無償あるいはかなり低額の活動を求められますが、少なくとも活動を続けられるだけの費用を確保できることが必要(これまでかなり持ち出しをした経験から)
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8.	イベントの規模が年々拡大しているが、活動主体の人材が不足している為、できることが限られる。
4	ホテルセンチュリーの縮小による大型の会場不足
5, 6, 8	マンパワー不足、活動を支えてくれる人が必要
	私共のグループは主体として年輩者が殆ど大学等学校関係者が全くといってよい程、関係して居ません。その点では市民・大学交流の意味をなしていません。教室が非常に使い易く年寄りにとって誠に有難いことです。よって年輩者の活動の場と思っております。
1, 3, 8	私達は子育て支援のネットワーク化をしていますが、なかなか皆さんの意識がうすく行政の中でも横のつながりがなく同じことをしていても他の課になるとわからないことが多くあります。横のつながりをもっとみつにしてどこかで話し合えるといいと思います。
4, 6, 7	相模原市で行う講師養成研修を経て会員となるが最近入会者が少ない。講座を行うことが主な活動であるが営利を目的とする団体ではないので、収益が多くは望めず活動資金の確保に難がある。講座会場の確保と使用料が高いことも課題の一つである。
6	子ども食堂を運営するためのボランティアの人数が減少しており、継続のためにも更なる人材の確保が必要。
4	年に一度の写真展(一週間以内)の予約をするのが大変である。
6	参加者にしろ担い手にしろ、多くの人に活動について知っていただき、参加していただくまでのハードルが高い。
4, 6, 7	ミーティングやイベントの会場確保の際、自助グループの認知度が低いいため、活動内容が理解されにくかったり宗教的な活動とまちがわれたりして断られる場合がある。事務局の人員名簿をつくらず参加も自由意志に任されているため人材が流動的、特定の人に偏りがち、献金で運営しているため資金的な余裕はあまりない。
2	各中間支援組織が把握している「担い手(登録者)」「活動機会」等の情報が共有しきれていない。※市民協働推進課、国際課など、行政の担当者とも課題意識を共有したい。
3	魅力ある団体や施設としてPRできるように力をつけたい。
1, 7	コロナの影響前は、参加者が60名と規模が大きくなり、マンパワー的にも資金的にも限界を感じていた。ゼミナールの履修生のみではなく、大学の組織的活動(プロジェクト)に昇華させた方がいいという意見も出ている。
4, 7	グラウンドの確保は1年以上前に固まり、スケジュール調整が難しい。指導料等の財源確保

2, 5, 9. その他(増加しつつある外国人、企業、実習生等にも参加できる場がほしい)	日本語教室に参加している外国人の中でも企業実習生が増加しつつある。ベトナム、インドネシア他の実習生は日本語を勉強していてもシフトが変わったりすると続けられず断念してしまうケースが多い。しかし日本に来て日本人と交流したり自国のことを伝えたい人も多い。地域に交流の定着があれば将来この地域の力になる。新しい文化の先がけにもなると思う。
6, 7, 8	「人材のマッチング支援をしている」ことへの認知度が低い。学生が参加するための移動交通費の助成があるとよい
1, 2, 5, 6, 8	行政の縦割りをもっと連携・協働できる組織体を形成し学生の将来に向けた発想を取り入れた地域課題の解決につなげる
4, 7	市内にプレイパークを広めて行きたいが、活動できる場を見付けることがとても難しい。公園、広場、林・・・一日プレイパークが出来るところを探している。事業のほとんどが収益がでるものではない、寄付、会員により支えられている。
3, 7	収支の問題、受講者側PC機材の問題が解決できていません。コロナによりオンライン講習が望ましいのですが、受講者側のPCを有さない方に取り、高額な設備負担となり、何らかの補助があれば受講対象を広げられそうに思いました。また自宅ではなくユニコムプラザ内でPCを提供するオンライン講習の形でも良いように思われました。
3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	がん患者かつ高齢者が会員の多数を占めるため、体調管理と活動のバランスが難しい。活動結果を社会に役立て成果と成す方法を模索中。同様の団体との交流のための窓口がわからず、発信の仕方もわからない。
1, 3, 5, 6, 7	我々には活動の中心となる場がなく、常にどこかを借りたり、カフェに集まって打合せをすることになります。支金があれば、場所を借りることも考えられますが今はそれもムリです。(学生さんに手伝っていただくにも、アルバイト代や食事代ぐらいは支払いたいのですが)・人材の確保なども拠点があるのと無いのでは全然違います。・我々の活動をPRする機会や場がまだまだ少ない、など...
9. その他(大学との連携)	現在相模女子短大と連携しているが新しい連携先が見つかっていない。
3	絵本の読みきかせを希望している乳幼児や保護者の開拓が難しい、読みきかせ+αの内容の発展へのアドバイスがあると良い。
3, 5	子育て広場を運営するにあたり育児不安をかかえた保護者への対応に悩んだり、支援者のスキルアップがなかなか図れなかったりと質の高い支援を維持するのが難しい。専門家からのアドバイスや助言を受けたい。
4, 6, 7, 8	会員は自ら動く人が少なく人出不足。特に若い方の参加が少ない(仕事との両立がむずかしい)運営の仕方も、今風の方角へ向かない。
1, 7	コロナにより活動の状況が一変した。正直ボランティア(無償)として継続することは難しいのでオンライン化も含めた資金づくり新しい活動体制を模索している。現在大学ではなく大学教員「個人の活動」との連携に希望を感じている。
9. その他(「インターネットを楽しむ」を目的とした同好会)	HPIに掲載しています。
3, 6	2年前に自分の活動を紹介するホームページをSOHO事業者に頼んで作成したが見直しまで手が廻らず放置したことで契約が切れうまくゆかなかった。シェアードオフィスに相談できる人がいたら将来に向けた取組みも進み自立できたのでは?
3, 4, 7	・小さな成果をリンクさせて大きな成果へとつなげるために、事業計画を定期的に見直しているが、自分達では視野がせまくなりがちなので客観的なアドバイスが欲しいと感じることが多いです。・場所の確保ができず企業からの物品寄付を受け入れられなかったりインターン生の受入人数が限られてしまうがシェアードから独立するだけの資本力がないことも大きな課題です。

【まとめ】

資金・場所・人材の「不足」、情報の発信・受信、外部との連携などどの分野の団体にも共通して抱える問題が浮かび上がる。さらにIT化が進み、コロナ禍でSNSの利用が増えた現在に対応できる技術・時間がないということも見て取れる。行政や大学・学生との連携など多方面からのサポート・協働を通して解決できる方法を模索する必要がある。

大学との連携・交流、ニーズ、課題、PRについてその他自由にご記入ください。

【ユニコムプラザさがみはらに関して】

シェアードオフィス2と3の空室が多い。本施設を有効利用するために「大学連携」と「ビジネス不可」の入所条件を緩和する方向の議論をはじめしてほしい。

大学の正科(単位を取得する科目)において、学外で地域の方々と協働し、学生が自ら学びを实践できる環境としてモデル事業を整備されたユニコムプラザの意義は大変大きく感謝申し上げます。

ユニコムプラザの大学情報コーナーでは学生達が市民と協働してやって見たいこと、課題解決に関してこの様なノウハウがある等、情報発信してもよいと思います。

ひとつの市町村でこれほど大学が集まっているところはまれである。その特性を活かして地域の課題解決、地域の活性化は充分可能だと考えています。ユニコムプラザがもっとも魅力ある場となれば、交流の場として活用されるのではないかと思いますので、是非その計画に参加したいと思います。

ユニコムプラザさがみはら設置条例の見直しを希望。シェアードオフィスは市民と大学の連携によるNPO活動を支援する目的の様ですが、既に市民活動サポートセンターがあり、シェアードオフィスは大学のベンチャー活動を市民と共に行うとすべきで、現状事業化活動がダメでは意義が薄れ、生活文化に関するSOHO事業の支援を希望。

【大学との連携】

昨年ユニコムプラザさがみはらで大学の職員の方が講師となって大学との連携について講演と交流の場があり参加させていただいた。その際感じたことは大学側としては直接学生にメリットがある内容の連携を望んでいるということで、それ以外の連携はむずかしいように思われた。大学との連携を考えた場合、ニーズや課題が合致しにくい側面を感じた。

大学生が活動に参加することの意義、楽しさを知っていただきたい。

医療系の知識を持つ大学生、院生に参加してもらいたい。→患者やその家族の素直な心情を知ってもらいたい。

当会にできることで、もし学生さん達のお役に立てることがあれば嬉しいと思っています。

【団体のPR】

私共のイベントは大学や行政にとってもっと有効に活用して頂ける要素があると思います

医療・介護・福祉とまちづくりについての経験や知識があり、講演や授業なども行っています。大学生に肌で感じてもらうイベントなどを一緒に作っていききたいです。

将来日本語を教えたい学生さん、研修の一環として日本語教室に参加してみてください。思いがけない外国人との出会いの中で言語の違いや共通性を通して交流が深まります。

人の数だけ表現があり教科書で習ったことは、1人1人の表現に向きあい、経験することでこそ身になります。「表現」は「人の基本」であり、社会ができていく過程でコミュニケーションは欠かせません。こう描くべきだという固定観念もなく、人として本質的で解放的な子達の創作とそのプロセスには大人も楽しみ学ぶ要素が詰まっています。言葉ではなく、五感を開いて色や形でのコミュニケーションをあらゆる年代の人と楽しむことで、表現の喜びを確信できたり、社会人の問題意識が生まれます。それぞれの視点に立った、主体的な創作の場のエネルギーを一緒に体験してみませんか？

電気・電子・ソフトウェアの分野において今まで触れた事のなかった学生さんへ興味を沸かせる資産がありますので有効活用して頂きたいです。電気・電子・ソフトウェアの分野に興味を抱く子供さんと、同じ分野の学生さんの仲介を行います。学生さんの人間的な成長をアシストできると考えます。電気・電子・ソフトウェアにあまりくわしくない分野の方へとても入りやすい入口を提供致します。是非有効活用して頂きたいです。

これからの時代は益々人と人とのつながりが大切になると思います。そのために人生設計について改めて考えることと生きがいある人生を送るために自分がやりたいことを気の合う仲間とともにやれるコミュニティが必要になると考えます。地域社会の活性化に貢献できればと考えております。

ボランティアではなくプロとして活動しています。

インターネットを通して若い世代からシニア世代に至るまで皆でいっしょに楽しめたらいいと思います。

【課題】

新型コロナウイルスに依り、サロンの開催ができません。早く通常通りの活動が出来る日を望んでいます。

活動時間帯にズレがあるので結構難しい。大学側のニーズに当方が合致する内容があるかわからない。

主力の役員の年齢層が高く発想がマンネリ化している。若い人達の声が聞きたい。